

第40回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年6月21日（火） 9：00～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 被害状況

(1) 被害の状況

- ・死者3名、行方不明者3名、重傷者1名
（亡くなられた方は宇土市1名、甲佐町1名、上天草市1名）
- ・全壊1棟、床上浸水12棟、床下浸水9棟、一部損壊3棟、分類未確定2棟
ただし、人命救助を優先している関係で、家屋被害の状況は今後変わっていく予定。
- ・地震に伴う避難者数を含んでいるが、県内206カ所の避難所に1995名が避難。
- ・避難勧告の対象世帯は76,187世帯、対象人数は190,348人。
避難指示の対象世帯は2,512世帯、対象人数は6,240人

(2) 救命・救助

- ・13件の報告があがってきている。
現在、3番の熊本市北区津浦町で男性1名と5番の宇土市50代の女性1名、合計2名を救出中。
- ・亡くなられたのは3名。6番の宇土市の男性は心肺停止との市からの報告。11番の甲佐町の男性は用水路に転落された。13番の上天草市の男性は土砂崩れにあわれた。

(3) 孤立集落の状況

- ・御船町水越地区の孤立・要救助者2名については、消防ヘリで救助中。
- ・南阿蘇村立野地区、これはこの前崩れたところの下の所が崩れ、避難指示が出てはいたが避難が間に合わず、6名の方が孤立している。国土交通省と県の土木の方で対応しており、警察消防も現地にいる。

2 現時点ですで行った措置

昨日（20日）午後4時30分に最初の情報連絡会議を行い、市町村に対し、予防的避難を呼び掛けるメールを発出。

本日（21日）午前3時30分に第2回の情報連絡会議を行い、被害状況の確認を行った。

3 大雨の概要及び今後の予測について（气象台）

- ・アメダスの1時間降水量の観測記録を更新した箇所。甲佐では1時間に150ミリという記録的大雨となり、宇土・三角で100ミリを超え、熊本でも94ミリを観測として記録している。

- ・ 6月18日18時から21日7時までの総雨量の記録は、阿蘇山が425ミリ、山江344ミリなど。
- ・ 今後の雨の状況等について、梅雨前線の活動自体は明日にかけて九州北部付近に停滞、日中の雨は小康状態に。しかしながら、今夜から明日の明け方から昼前にかけて激しい雨が降る恐れ。
- ・ 大雨警報、土砂災害警戒情報は15時までには解除できる見込み。洪水については昼ごろにはいったん解除の見込み。それ以降については、黄色で注意報は続く。
- ・ 今年から始まった「警報級の可能性」だが、これまでに降った雨が多いということもあり、土壌に溜まっている可能性があるため、雨の降り方によっては明日の未明・明け方にかけてはまた再び警報の可能性。

4 各部からの報告

(総務部)

- ・ 県庁舎の被害の状況について、行政棟新館1階公用車駐車場と地下一階資料館室が浸水したが、排水作業が完了。北側・南側駐車場についても浸水したが、現在作業中。
上益城の土木部庁舎で、会議等の雨漏りでその他は情報収集中。
- ・ 私立高校については、休校2校、始業遅れが3校。
- ・ 私立中学校については、休校が3校
- ・ 私立幼稚園については、休園はなし。

(企画振興部)

- ・ JR九州（本線、肥薩線、三角線）で運転見合わせ。
- ・ 路線バス、高速バスが一部区間で運転見合わせ。
- ・ 航空機、フェリーは通常運行。

(健康福祉部)

- ・ 県立こども総合療育センターは一部浸水があったが、今は水は引いている。
- ・ その他の医療機関、福祉施設等については現時点では報告はない。

(環境生活部)

- ・ 水道施設で被害がでている。断水が美里町、益城町。山都町と美里でにぎり。
宇土市で漏水が2カ所。宇城市で電気設備の異常により一部断水。

(農林水産部)

- ・ 目立った被害の報告はないが、心配している山腹崩壊について今朝から調査に入っている。

(土木部)

- ・ 熊本地震のからみ以外で、国道県道併せて全面通行止めが33カ所、片側通行止めが9カ所、その他は表のとおり。
- ・ 特筆すべきところとして、はっきりとは分かっていないが、南阿蘇村長陽で孤立2

名がでてきているようだ。はっきりはしない。

- ・グリーンロードについて、今回止まっていますが、このほかにも何箇所か県道があるので、阿蘇に入るには何ら支障はない。
- ・国道57号の三角で全止め。天草方面に行けるのか266号が全止めという情報もあるので、確認する。
- ・崖地の崩壊、河川調査も入っている。

(企業局)

- ・市房発電所は運転中。
- ・緑川発電所第1、3は発電中。2は土砂流入により手動で発電停止。
- ・笠振発電所については、流入量が基準を超えたため、手動で発電停止。
- ・駐車場は待合室、トイレの壁から水。

(教育庁)

- ・県内の公立の小中学校で休校が24校。始業遅れが小、中、特別支援学校で16校。

4 災害対策本部長からの指示事項

(蒲島知事)

昨夜からの記録的な大雨が本県を襲った。現在、判明しているだけでも3名の方々の尊い命が失われた。心よりご冥福をお祈りいたします。

熊本地震により、県内のいたるところで地盤がゆるんでいる。このため我々は「空振りには許されるが見逃しは許されない」を合言葉に、繰り返し予防的避難の徹底を呼び掛けてきた。このような中で犠牲者が発生しており、非常に残念でならない。

雨はいったん小康状態となっているが、また夜半から大雨が予想されている。今年の梅雨は例年とは違う。どこで土砂崩れや河川の氾濫が起こってもおかしくない。県庁全体でこの認識を共有し、県民への呼びかけや応急的な対応を行っていただきたい。

そして、県民の皆様にもお願いがある。自分は大丈夫という考えは禁物。それはこれまでの経験であって、これからも約束されていることではない。土砂災害や浸水などの危険性を再認識し、自分の命は自分で守る、そして地域で協力してみんなで避難する、このことを肝に命じて、明るいうちから早めの避難をお願いしたいと思う。

また、マスコミの皆様におかれても、予防的避難の呼びかけに御協力いただくとともに、各種媒体により、気象情報を適宜適切に伝えていただくようお願いしたい。

みなさん、よろしく申し上げます。

(以上)